

絵本寄贈 絵本のモデルは牧野ひまわり会の佐久間辰一さん



10月11日、大越町の佐久間辰一さんとNPO法人チームふくしまの職員が市役所を訪れ、佐久間さんをモデルにした絵本「ぼくのひまわりおじさん」を寄贈いただきました。佐久間さんは、「牧野ひまわり会」の会長を務め、ひまわり3万本を管理したり、夏のひまわりフェスなどのイベントにも携わっています。絵本では、佐久間さんの活動が子どもたちに分かるように紹介されています。

贈呈いただいた絵本は、市内の幼稚園・保育所・児童館のほか、図書館や行政局・出張所にも置いてありますので、ぜひご覧ください。

船引町更生保護女性会 JR東日本仙台支社から感謝状



10月15日、市役所で、JR小野新町駅長から船引町更生保護女性会の渡邊美智子会長にJR東日本仙台支社からの感謝状が手渡されました。船引町更生保護女性会は、明るく住みよいまちづくりのための地域活動として、磐城常葉駅と要田駅前には花を植えました。

会はこのほか、幼稚園・小学校で朝のあいさつ運動を行ったり、青少年の非行防止を目的とする広報活動をしたりするなど、地域と関わりながら明るい社会づくりに努めています。

福島県きのこ品評会 箭内幸一さんが農水大臣賞受賞



10月19日に福島県林業センター（郡山市）で開かれた「福島県きのこ品評会」で、滝根町の箭内幸一さんの原木しいたけが、最高賞である農林水産大臣賞を受賞しました。

箭内さんは長年きのこの品質向上に取り組んでいる原木しいたけ生産の第一人者で、これまでも農林水産大臣賞を複数回受賞しています。

10月26日、箭内さんは市役所を訪れ、本田市長に受賞を報告、「これからはきのこの品質向上に努めていきたい」と述べていました。

おめでとうございます！

献穀献納式 佐藤円治さんが収穫した米を皇室に献納



10月22日、皇居で新嘗祭献穀献納式が行われ、献穀者である船引町の佐藤円治さん、幸子さんご夫妻が出席しました。佐藤さんは献穀田で収穫した福島県オリジナル米「里山のつぶ」を献納、天皇陛下と直接会見されました。

献納式を終えた佐藤さんは、「めったにない名誉ある機会に恵まれたのも、お世話になった皆さんのおかげ。式では、お世話になった皆さんの顔が浮かんだ。皇居独特の雰囲気には緊張した」と笑顔で話していました。

文化祭 作品展示・イベントでにぎわう

10月27日・28日、市内各地で文化祭が開かれ、大勢の来場者でにぎわいました。

【星の村文化まつり（滝根体育館など）】
文化協会の団体をはじめ子どもたち・企業などの作品展示販売、文化団体による芸能発表会、あぶくま太鼓紅組・鬼五郎幡五郎和太鼓保存会による太鼓演奏など、もりだくさんの催しが行われました。模擬店では、地元のカレーコロッケや味ふかしなどが販売され、大勢の来場者でにぎわいました。



星の村文化祭の様子

【大越町文化祭（大越行政局・おおごえふるさと館）】
ブースには、各団体の作品展示や体験コーナーが設けられました。中でもお茶会の体験ブースでは、本格的な茶道に触れ、優雅なひと時を味わいました。そのほか、民俗芸能発表会では、出演者が日ごろの練習の成果を多くの来場者に披露しました。



大越町文化祭の様子

【都路町文化祭（古道体育館）】
子どもたちの作品のほか、老人作品、創意工夫、農作物品評会、企画展など約1,045点が出品され、来場者の中には大きな絵画にびっくりしている人もいました。また、蓄音機や昔の農機具も展示され、鑑賞者は古い時代を懐かしんでいました。



都路町文化祭の様子

【常葉町文化祭（常葉公民館・文化の館ときわ）】
展示ブースでは、子どもたちをはじめ、文化団体・老人クラブや各種団体が出品。模擬店では、手打ちそばやみそおでん、イワナの塩焼きなどが販売され、来場者の舌を喜ばせました。また中野区緑化業組合による鉢花の無料配布や、木工クラフトなどの体験コーナーでも、大勢の来場者でにぎわいました。



常葉町文化祭の様子

【船引地区文化祭】
10月7日、「秋の芸能まつり」が市文化センターで行われ、船引町民謡民舞の会加盟団体などが踊りや歌、演奏などを披露しました。

10月27日・28日には、「地域文化を育て、愛と夢のある文化祭にしよう」をテーマに、各種作品等展示会が船引小学校体育館・船引公民館・市文化センターで開催されました。屋内では語り部による昔ばなし会やお茶会、屋外ではフリーマーケットや木工教室、特設ステージではフラダンスやバンド演奏などが行われ、来場者は楽しく交流しました。市文化センターの地下展示室では「佐藤巧雲写真展」が開催され、全国的に著名な富士山の写真を大勢の来場者が鑑賞しました。



船引地区文化祭の様子